

## 人生守則～廿字真言簡易注釈(文清流)

忠	しんめんもく 真面目の堅持	いずれの仕事も、全心全力で完成させる。 忠誠は内心から発する自動自発的な精神である。
恕	善の延伸	人を許す。幸福で快樂を憧れる心をより大勢な人と分かち合う。 角度を変えて世界を見れば、世界は無限に広がる；立場を変えて人に 相対すれば、静まり安らぎのない人の物事はない。
廉	守りの本分	今あるものを大切にし、手に物を持っているのに、さらにその上に目 が他人の物を物色することはしてはいけない。 他人に対し打算的にせず、自己をよく反省する。
明	暗黒を拒絶する決心	プラス面に向いて思い、人や物事にあたるには楽観的で明るく行動す る。 好き勝手に物事を進めず、心に応じて自分自身を教育する必要がある。 る。
徳	善行の実践	良い言葉を話し、陰で必要な人に物質的・経済的に援助することによ って、周りがあなたの存在で活気を与えられるようにする。 人への奉仕は〈福を造る〉ことであり、その中から学習することは 〈知恵を造る〉ことである。
正	節度のある力	考えること、話すこと、すること、すべては公明正大であり人々から 検証されても耐えられる。 批判された時も、自分の良心に恥じるところがない。後ろめたいこと がなければ心は安らぐ。
義	大我の力の発揮	災難に遭った人を見かけて、“正義のために勇敢に事を行なう”よう に、その人を助ける。 人と人は互いに助けあい、支え合う。
信	言い出したことは必 ず実行し、言行一致 とする	承諾を守り、他人に嘘をつかない。 自分に対し信心を持つことであり、他人に対し信頼することである。
忍	真我の意志の主宰者 になる	他人からの軽蔑または劣悪な環境に影響されない。 他人の思慮に欠ける言葉を気にとめないように。怒ることは他人の過 失を以て自分に懲罰を与えることになる。
公	無私之行儀	公益を追求し、自分のことを脇に置く。 ことにあたるには公正で私心がなく、他人と自分とを分けない。

博	広大で宏遠な態度	視界を広げ、常に自分を充実させ、善行を他人にまで広める。 時間は心知を成就する豊かな資源であり、博学は寸秒の間の経験の累積である。
孝	養育の恩に報いる	父母がいなければどうやって成長できるか、天地が無ければ如何に生きていけるか、如何に報いることができるか。 太陽の光は壮大であり、父母の恩情は偉大であり、君子の度量は寛大であり、小人の気は短い。
仁	延び広げる愛	心を痛めた場面があったらうか。その動力をしっかりと掴み、ひっくり返すのである。 心に愛があってこそ、だれにも愛されるようになる。
慈	同情心の現し方	衆生を哀憫するところを発し、弱小者の守護神になる。 仁愛の心を持つ心根を以て、人を苦難から助ける。穏やかでにこやかな態度で人に接する。
覺	事理明白	良い本、好人、好い景色と深く語り合って、生命の智慧を会得する。 集団の中では目で見ただけでなく、心の目も開かなければならない。
節	正確な原則を堅く守る	生命を以て真理を守り、真理を防ぎ守る勇気も諦めない。 今あるものを大切にし、打算的でなければ自由自在になり、煩惱を放下できてこそ幸せになる。
儉	無駄使いをしない	感恩惜福、知足常楽を理解できる。 生活は素朴で節制し、知足して常に幸せで、惜才・惜福・惜徳する。
真	赤子のように純真でいる	人によって態度を変える人にならず、考えることと話すことと行うことが一致しないことはない。 笑顔が一番美しい表情であり、笑顔は世界共通の愛の表現である。
禮	自分の役割をよく演じる	人に接するには人に接する尺度があり、物事を行うには物事の決まりがある。 人に礼節があってこそ、このような姿勢が美しくなる。
和	円融和諧 乱をはじき正にかえす	自分を大切にし、他人を大切にし、天地、自然と融合して一緒になる。 美しい人生は物質、権勢、名利・地位にあるのではなく、人と人との間の思いやりと友情にあるのだ。

